

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール GH桂

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人理念があり、事業所理念ができて職員間で共有ができておりケアに活かしている			常に職員の目に入るところに掲示している。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の催事などが再開されたこともあり地域ケア会議に参加し校区内で行われる催事に参加している。	保育園との交流は事業所の大きな利点ですので交流を深めてほしい		保育所との交流は継続してまた地域へも参加をして交流を深めていきたい。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議開催開始に伴い家族様の参加も頂けご意見も頂戴できている。	事前にお知らせいただき意見や要望をいただけるようにしている。欠席の方からもご意見いただける		タイムリーなご意見をお聞かせいただけるようお電話でのコンタクトも取らせていただく
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行政との、積極的な取り組みは出来ていないが地域ケア会議に参加させていただいている。	職員は地域の土地勘などがいないため情報収集が必要です。		有事の際などやはり地域の力が必要となる
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スピーチロック、不適切な言動については、報告書を提出している介護事業部の研修を受講し伝達研修を実施している		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修の受講を絶対とし自らを振り返る機会を作る
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所代表が全体研修で学び、事業所内で伝達研修を行っている。また、事業所内にポスターを掲示し虐待の防止に注意を払っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自らの振り返りはもちろん事業所内で注意をし合える環境にする。

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	制度理解は出来ている。利用者さんも制度を活用されている方がおられる。介護事業部の人権の研修を受講し学ぶ機会を作っている。			制度を理解し共通認識を持ち従事できるよう勉強会などを実施する。
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アンケートにて、苦情、要望等を記入して頂いている。入所時、改定時に説明を行っている。不明点などがあれば、お問い合わせ頂くようお伝えし、理解・納得して頂けるよう対応している。			時間をかけて丁寧に説明・対応している。
9	運営に関する利用者、 家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入り口に苦情、ご意見箱を設置している。また、年に1度の満足度アンケートにて、苦情、要望等を記入して頂いている。課題や改善策を外部・家族さんにも報告し運営に反映している。		④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議のご案内に要望などをご記入いただく用紙を同封し返信いただいている
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の面談時に個別に意見を聞いて反映するように心掛けている。			面談以外にも職員の声を聞く事を心がけている。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回の自己評価表や力量評価表にて把握に努めている。全体として、改善に向けたアンケートも実施し改善に努めている。 適宜、職員面談も行い把握に努めている。職場環境の整備に務めている。		④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の意見を聞き反映できるよう努めている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	計画作成者研修、採用時研修、現任研修、管理者研修等の研修に参加している。また、キャリアパス制度もあり、研修に参加出来るよう調整している。		④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アナウンス・勤務調整を行い積極的な参加・自己研鑽を支援している。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	横のつながりを強化するための交流が開始されているので参加できるように調整する。研修なども積極的に参加できるようにアナウンス行い調整する。			地域の会議や勉強会への参加を始めている。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	普段の関わりの中で、一緒に出来ることは何かを考える事を心掛けている。あくまでも自立支援を念頭に置いて支えるようにしている。			家族さんに安心していただけるよう近況報告は定期的にさせていただくよう努めている。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご自宅での生活環境を出来るだけ引き継げるよう馴染みのものをお部屋に飾って頂いたりしている。			家族さんにお写真を飾っていただき利用者さんとの会話の糸口にもなっている。馴染みの関係維持に努めていく。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者さん1人1人の思いを大切にし、馴染みの生活に近づけられるよう支援し、希望に沿えるよう職員間で連携し情報の共有を行っている。			職員間での情報共有に努めている。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	介護計画を作成するにあたって、利用者さん、家族さん、主治医、看護師と話し合い文章化し、それぞれからの意見や希望を集め定期的に職員間でケアの見直しをしている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	多職種と意見を交わす事で優先順位が見えケアに反映出来ている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ケアカルテには日々の様子を個別記録し、申し送りノートを活用やカンファレンスの場で意見交換しケアプランへ反映・実践している。業務引継ぎの際にも情報を共有することを徹底している		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	丁寧な記録を心がけしっかりと情報共有が出来るように努めている。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さん一人ひとりに必要な支援サービスが提供出来るように柔軟な姿勢で取り組んでいる。往診や訪問看護、口腔ケアの実践をしている。			ニーズは状況により変化するのでタイムリーに検討し支援に繋げていく。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方からご案内いただき校区内催事に参加出来るようにしていく。			地域のコミュニティに少しずつ参加させて頂いている。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な往診や利用者さん・ご家族さんの希望に添った医療が適正に受けられるようよう支援している。往診時以外にも必要時間連絡が取れる体制になっている。			利用者さんのかかりつけ医・提携医療機関と連携を図っていく。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には、介護サマリー、電話等で情報の共有をし、早期退院に向け、地域連携室との連携を図っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各病院の連携室とは頻回に連携を図り早期退院に向けて調整している。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期医療の説明・重度化の指針など入居時に説明し理解を得ている またその場合は家族さんにも説明を行いケアにあたっているが地域の方との共有が出来ていない。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時だけではなく状況の変化時には家族に伝え考えていく。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な救命救急講習の受講し、急変・事故発生時のマニュアルを作成し備えて、事故発生に対応できるようにしている。			講習受講以外にも定期的にマニュアル確認・初動確認を行っている。

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	年2回の消防訓練の実施。地震水害等の避難方法を事業所内での研修を実施。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	事業所内での訓練は実施しているが、今後は地域での避難訓練にも参加していきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者さんのプライバシーの配慮と人格を尊重した一人ひとりに合った声掛け言葉掛けをするように気を付けている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	自らの行動・発言を振り返るよう報告書を作成し職員間で共有・検討している。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者さんの希望や状態を最優先に考えて生活出来るような声掛け、配慮をしている。			利用者さんのペースに添えるお声掛けをしてお待ちするケアに努めている。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者さんのお好みをお聞きしメニューを決めたりしている。テーブルやトレーを拭いたりをお願いしている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	できる事を見極めできる事に参加していただく。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食事量や水分量は記録入力し共有して把握している。摂取量に問題がある時は他職種へ相談してアドバイス受けている。			食事形態を工夫しながらも美味しく楽しく食事していただけるよう心がけている。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアをして頂けるよう必要物品を用意し支援している。また、週1度の訪問歯科と協力しケアの方法等アドバイスや指示をもらい実践に活かしている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアの必要性を理解しケアできている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日中は、出来るだけ一人一人の排泄パターンに合ったトイレ誘導、夜間帯も定期的な支援をしている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	不快な思いをされる事の無いように羞恥心に十分に配慮したケアを行う。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来るだけ利用者さんの希望に沿った時間で入浴を楽しんで頂けるよう支援している。個々の必要な支援介助を行っている。			清潔保持の目的でなく楽しんでいただく時間を提供できるよう努めている。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	休息がしたいときに出来るように対応している。 夜間も安眠できるように居室環境や温度設定をおこなっている。			ご自身のペースで休息していただき室温調整も適宜適切になるように心がけている。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬マニュアルに沿って対応している。また、処方内容の変更、頓服薬を服薬された時等は、チェック表の変更、申し送り、経過観察等に注意している。		④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	Dr の指示・処方を理解しマニュアル重視した服薬管理・介助を行う。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の能力や趣味等を把握し、出来る事を支援している。			塗り絵や折り紙・好きな DVD をご覧になったりされている。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内の散歩や外気浴を取り入れている。併設の保育園との交流も開始されている。もっと地域交流が頻回に実施できるようにしていきたい。			ADL の低下もあり余り外出への希望が聞かれなくなっているが外出への意欲が出るような働きかけを考えていきたい。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現金を所持している利用者さんはおられず希望があれば家族さんにお問い合わせするか家族さんの了承を得て職員が購入している。			現在お金を所持して買い物を希望される方はおられない。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望があれば、随時家族さんへの電話等対応している。手紙も家族さんの希望もありやり取りされている。			家族さんからもお電話いただきお話をさせていただいたりとしている。

39	居心地のよい共用 空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	心地よく過ごして頂けるよう、随時温度や湿度を調整している。掃除も毎日行い、利用者さんと制作した壁画を飾り、行事ごとの写真も掲示している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	室内であっても季節を感じていただけるしつらえ等工夫している。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	☒ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さん1人1人の思いを大切に希望に沿えるよう職員間で連携し情報の共有を行っている。			思いをしっかり聴く傾聴を心がけている。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族さん、利用者さんからの会話等の中から把握に努めている。			利用者さんの人となりを理解し家族さんとの情報交換を行いケアにつなげるよう努めている。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、訪問看護師、往診医、理学療法士、言語聴覚士、歯科医に伝えて相談し、個々の利用者さんが適切な受診や看護を受けられるように支援している		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常で気になることがあれば適宜多職種連携を図り対応している。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さんのペースで生活出来るような声掛け、配慮をしている			業務優先にならないように心がけている。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さん、家族さんと相談し、馴染みの物をご持参して頂いたり、落ち着いて過ごして頂けるようしつらえ等配慮している。動線にも気を配っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のお部屋には写真やなじみのものが飾られている。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	少しずつ緩和され出来つつあるが飲食がまだできないという制限がある。			外出は現状できていませんが祭事については季節の行事を室内で行っております。(納涼祭・ハロウィン・クリスマス・節分など)
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用さんの意向、思い、状態をアセスメントし個人の能力や趣味等を把握し、出来る事を支援している。			継続してアセスメントの重要性を理解し職員間での検討し支援につなげていきたい。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さんや職員との会話や家事参加の役割、レクリエーション等での活動場面を日々の暮らしの中で得ることが出来ている。		④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活の中で楽しみや達成感を感じていただける場面を沢山提供し生活リズムを変えることなく機能を出来るだけ維持していただけるよう支援していきたい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	少しずつ緩和されつつある。併設保育園との交流は頻回に出来つつある。			併設する保育園との交流はもちろんのこと地域のコミュニティにも積極的に参加して関係性を作りたい。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームでの生活で安心感は感じて頂いている。		④. 充分にできている B. ほぼできている C.あまりできていない D. ほとんどできていない	気持ちの変化や出来る事が変わっていく状況の中でもできる限り「らしい」生活を送って頂くため利用者さんを取り巻く全ての資源を活用して支えていきたい。